伊丹市立荒牧中学校 第２学年

みんなが英雄

平成２８年７月１１日(月)　第１２号



期末テストや市内の夏季総体が終わり、もう少しで夏休みを迎えます。一学期を充実したものにするためにも、残り少ない日々をどう過ごすかが肝心です。
現在、三者懇談会が行われています。担任の先生から、一学期の良かったところや悪かったところが伝えられていると思います。しっかり話を聞き、反省すべき点は直していきましょう。

講演会で障害者問題を学びました

６月の道徳では障害者問題に取り組んできました。担任の先生から障害者問題に関する話を聞き、白杖を使用したアイマスク体験で、目の不自由な方々の日常生活の一部を体験しました。
先日、伊丹市視覚障害者協会副会長の高瀬静嗣さんの講演会がありました。音声の出るパソコンなど視覚障害者をサポートできる機器があることをはじめ、具体的な日常生活の話を分かりやすく話されました。みなさんの感想文を読むと、障害者の方々の日常の大変さがよく分かったという感想が多くありました。また、感想文の中には、町で困っている方を見つけたら「大丈夫ですか」ではなく「何かお手伝いしましょうか」と声を掛けたいと、書いている人が多くいました。習ったことは、機会があれば実践してください。

《保護者のみなさまへ》

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」アンケート【保護者用】の集計結果より

「トライやる・ウィーク」が終わってから、保護者のみなさまにアンケートに答えていただきました。その集計ができましたのでお知らせします。213 名の方々に回答していただきました。

Ⅰ　「トライやる・ウィーク」でそう思うと感じることを選んでください。（複数回答）

1　「トライやる・ウィーク」を体験する中で、お子さんとの会話がふえた。　…(６７%)

2　「トライやる・ウィーク」の活動を通して、我が子への見方が変わった。　…(３６%)

3　「トライやる・ウィーク」のような活動に機会があればまた参加させたい。　…(９４%)

アンケート結果より、(「トライやる・ウィーク」のような活動に機会があればまた参加させたい。)という項目に、多くの保護者の方々から肯定的な回答をいただきました。前回の生徒アンケートでも同じような質問があり、生徒からも多くの回答を得ています。「トライやる・ウィーク」は、学校生活にとって意義のある取り組みと感じている方が多いことが、このアンケートから窺えました。
また、「トライやる・ウィーク」について、感想等お気づきの点についてもご記入いただきました。一部ですが紹介させていただきます。

- 将来なりたいなと漠然と考えているより、実際やってみてどうだったのか考えることができるのでとてもいい機会だと思います。年に何度かあるともっといいと思います。
- 働くことが、楽しいことだけじゃない、大変さも少しわかったんではないかと思います。知り合いの中学生が働く姿も立派に思いました。
- 将来の進路の参考になればよかったと思います。仕事が楽ではないことも理解し、親の大変さもわかってくれれれば良いです。いい経験となり、よかったと思います。
- ただ体験するだけでなく、事前に話し合ったり準備する機会が取れるので貴重な経験につながったと思います。
- 本人が希望していたところとは全く職種の違うところでの活動でしたので、どうなるか不安でしたが、無事に５日間を楽しく活動できたようです。ただ親から見ると自ら一生懸命に事業所を探して、そこでの活動を楽しみにしていたのに全く別の職種だったのはすこし残念でした。本人がポジティブに受け止めてくれていると嬉しいのですが…
- 「仕事はいつも同じことをしていてあきひん？」と聞かれましたが、いつも同じようなことをしないと成り立たない話もしました。働いてくれている人がいるから、いつも生活ができている。ありがたいと思ってもらいたいです。
- 学校で､机に座っての授業とはちがい大変勉強になったようです。ただ、事業所へご迷惑をかけていたのではないかと心配でした。事業所の方がとても親切で子供も楽しく活動できたようです。
- 社会の一員として仕事を少しでもすることで、自分がしないといけないという思いが少しでも出たのではないかと思います。今回の体験を通し、自信がついたところがあったり、将来に対して興味がわいたと思います。二度、三度行ってほしいぐらいです。
- 仕事休みだったので見に行ってきました。たまたま商品を出している所が見れて、少し目が熱くなりました。
- 公共の施設などは、なるべく生徒の希望が叶うよう、人数を増やしてあげてほしい。一番興味がある分野で、活動できたほうが本人も頑張って取り組めると思います。
- 希望者多数で面接があったこと。初めての経験で、よい緊張感を持てて良かったです。
- 貴重な体験ができて良かったと思います。今年は、希望が重複した場合、先生の面接で決定するというところがよかったと思います。
- 毎日、保育園の話をしてくれました。いつもは聞いたら答える程度ですが、あったことなど自分から伝えてくれました。思ったことができなかったといいながら楽しかった様子です。
- 働くことの大変さは思って以上だったようですが、それでも楽しさ大切さも実体験できたと、子供の会話から感じ取ることが出来ました。毎日、エピソードを聞かせてもらいながら、知らない間に成長した子供を見つけることができたと思います。
- 働くことの喜び、苦しさ等が、少し伝わったようです。大人は生活のために日々頑張っていることが少しでも理解してくれたら嬉しいです。
- 海外ボランティアの精神が育つような取り組みも必要だと思います。
- 本人は仕事に対して大変・しんどい等、帰ってきたら言ってました。しかし、同時に仕事の大切さや働いている方への見方が変わり、自分なりに何かを得たようでした。
- 行きたいところに人数が限られていて、行けなかったのが残念でした。